

身につけておきたい知識とマナー

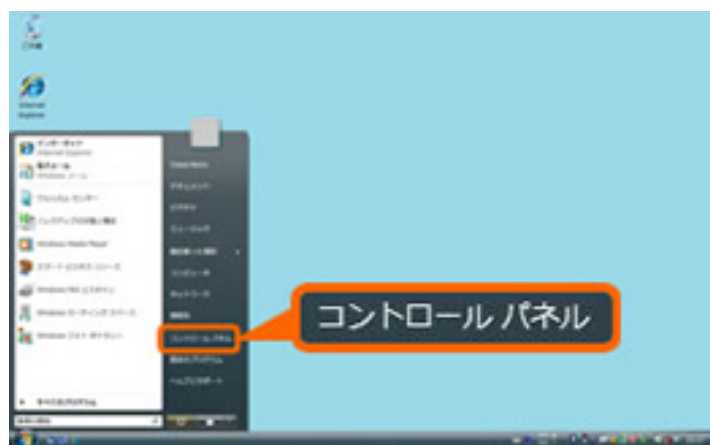
# 「セキュリティ教本」

## 拡張子を表示させる

Windowsではフォルダオプションの初期設定で、[登録されているファイルの拡張子は表示しない]という項目がチェックされています。この設定のままだと、ウィルスの可能性の高い「exe」「scr」「com」などのファイルの拡張子が表示されません。サイバー犯罪者はこの仕様を利用して、ウイルスファイルを安全なファイルに偽装して、クリックさせようとする場合があります。

セキュリティのためには、拡張子を表示させる設定にしておくことをおすすめします。

### ● Windows Vista



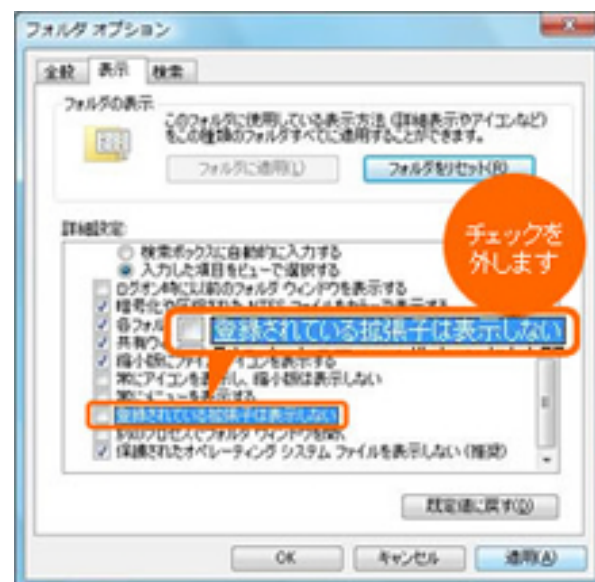
1 [スタート]→[コントロール パネル]をクリックします。



2 [デスクトップのカスタマイズ]をクリックします。



3 [フォルダ オプション]の[隠しファイルとフォルダの表示]をクリックします。



4 [詳細設定]の[登録されている拡張子は表示しない]のチェックボックスのチェックを外し、[OK]をクリックします。

## ■ アイコン偽装の手口

1. ファイル名にWordの拡張子である「.doc」を含む
2. ファイル名と拡張子の間に余分なスペースを入れておく
3. アイコンにWordのものを使用する

「拡張子を表示しない」設定の場合、「XXXXXX.doc」のみが表示され、Word文書のファイルだと思わせる

拡張子を表示しない場合



Abstract.doc

...

拡張子を表示した場合



Abstract.doc

.exe

拡張子を表示させると、拡張子が通常の「.doc」ではなく、「.exe」となっているが、ファイル名の後にスペースが多く入っていることから、拡張子を表示しない場合、実行ファイルであると気がつきにくい